



「北白川だより」 学校評価 臨時号

令和4年 3月 1日
京都市立北白川小学校
校長 藤林 弘之

学校教育目標

『学び合い 高め合い 夢に向かって進む 北白川の子』
～目標の実現に向け努力する意欲・態度と問題解決能力を培う～



平素は本校教育活動の推進にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様にはお忙しい中、冬休み後の学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。学校評価は児童・保護者・教職員が共通の意識をもち、連携しながら教育活動を進めるために、それぞれの立場でこれまでの取組について見つめ直す手段の一つであり、その結果から見えてくる課題について分析し、よりよい教育の在り方について考えていきたいと思っております。

なお、以下の考察では、A群とB群で「できている」、C群とD群で「できていない」と大きく2つに分けて分析しています。

本号では1月に行いました学校評価アンケートの結果をお知らせします。表面には<学習面>、裏面には<生活面>を載せています。表のAは「よくできている」Bは「だいたいできている」Cは「あまりできていない」Dは「できていない」を示しています。

【後期 学習面】

	児童		A	B	C	D	保護者		A	B	C	D	教職員		A	B	C	D
①	がくしゅうのめあてがたっせいで きている。	前期	46.7%	43.0%	8.1%	2.1%	我が子は、学校で学んだことを身 に付けています。	前期	27.3%	65.9%	6.5%	0.3%	確かな学力が身に付くように授業 を工夫して行っている。	前期	21.1%	73.7%	5.3%	0.0%
		後期	43.1%	46.7%	7.1%	3.0%		後期	29.1%	64.0%	6.6%	0.3%		後期	21.1%	73.7%	5.3%	0.0%
②	せんせいやともだちはなしをよ く聞いて、かんがえている。	前期	57.5%	32.5%	7.9%	2.1%	我が子は、人の話をしっかりと聞 いて考えることができている。	前期	20.3%	59.3%	19.8%	0.5%	友だちや先生の話をしっかりと聞い て考える習慣をつけるように取り組 んでいる。	前期	31.6%	68.4%	0.0%	0.0%
		後期	50.1%	41.4%	7.1%	1.4%		後期	22.8%	61.4%	15.3%	0.6%		後期	26.3%	73.7%	0.0%	0.0%
③	じゅぎょうちゅうすんじぶんの かんがえをひょうげんしている。	前期	45.4%	30.2%	18.4%	6.0%	我が子は進んで自分の考えを話 すことができている。	前期	23.1%	56.5%	19.6%	0.8%	授業中、子ども達が進んで自分の考 えを伝えるような授業づくりを心掛け ている。	前期	21.1%	68.4%	10.5%	0.0%
		後期	36.8%	36.0%	22.0%	5.2%		後期	23.6%	59.4%	15.6%	1.4%		後期	26.3%	63.2%	10.5%	0.0%
④	よんだり、かいたり、けいさんした りするちからがみについている。	前期	56.7%	31.8%	10.2%	1.3%	我が子には、基礎的な学力(読 む・書く・計算する)が身に付いて いる。	前期	29.7%	58.4%	10.8%	1.1%	基礎的な学力(読む・書く・計算す る)が身に付くように取り組んでい る。	前期	31.6%	68.4%	0.0%	0.0%
		後期	51.1%	35.2%	11.0%	2.7%		後期	28.6%	59.2%	10.4%	1.7%		後期	15.8%	84.2%	0.0%	0.0%
⑤	いえでじぶんからしゅくだいやがく しゅうをしている。	前期	57.4%	25.5%	14.5%	2.6%	我が子は、自分から家庭学習に 取り組むことができている。	前期	23.5%	44.6%	28.4%	3.5%	家庭学習の習慣が定着するよう な働きかけを行っている。	前期	21.1%	68.4%	10.5%	0.0%
		後期	46.7%	33.5%	16.8%	3.0%		後期	24.2%	44.4%	28.0%	3.5%		後期	15.8%	73.7%	10.5%	0.0%
⑥	すすんでどくしょをしている。	前期	54.9%	24.4%	12.6%	8.1%	我が家では、本に親しむことができ る環境を整えている。	前期	32.0%	45.5%	19.5%	3.0%	読書の習慣が定着するような働 きかけを行っている。	前期	26.3%	52.6%	21.1%	0.0%
		後期	46.2%	29.1%	13.7%	11.0%		後期	32.0%	47.3%	18.7%	2.0%		後期	21.1%	52.6%	26.3%	0.0%
⑦	じぶんからすすんでうんどうをし ている。	前期	61.4%	21.3%	10.0%	7.3%	我が子は、進んで運動に取り組 んでいる。	前期	31.6%	40.8%	24.9%	2.7%	進んで運動できるように工夫した り、声をかけたりしている。	前期	31.6%	52.6%	15.8%	0.0%
		後期	57.7%	23.9%	12.9%	5.5%		後期	32.3%	38.3%	25.4%	4.0%		後期	10.5%	78.9%	10.5%	0.0%

【②先生や友達の話をよく聞いて、考えている】の項目より

②の項目については、学習面の項目で最も高く、児童の91.5%が「できている」と回答しています。多くの項目で前期からの低下が見られる中、前期の90%から僅かな上昇が見られ、高いポイントを維持しています。全ての教職員が、友だちや先生の話をしっかりと聞いて考える習慣をつけるように取り組んでいる結果と考えられます。特に、コロナ禍で、話し合い活動やさまざまな交流が思うようにできていませんが、「聞く力」を育てることは、学びの基礎としてとても大切です。情報過多の時代で、インプットするための資質・能力は、今後、より大切になってくると考えます。他者の話を主体的に聞き、自分の考えを広げたり深めたりできるように、今後も取り組んでいきます。

【③授業中進んで自分の考えを表現している】の項目より

③の項目については、児童の「できている」が72.8%で、学習面では最も低い結果になりました。本項目は、前期の学校評価でも分析しましたが、なかなか改善できていない結果を受け止め、今後も意識して取り組んでまいります。②は比較的高い結果でしたが、②のインプットと③のアウトプットはセットで育てる必要があります。「聞く」ことは、受動的な要素が大きく、頭を使わず「聞いているつもり」の時もあります。授業でも、友だちの発表を復唱すると、言えないことも少なくありません。一方、児童の様子を見ていると、「表現する」ことは、能動的で思考を伴うため、面倒に感じて避ける傾向があります。学校でもお家でも、自分の考えを自分の言葉で話すことを大切に育てていけるとよいと考えます。

【⑥進んで読書をしている】の項目より

⑥の項目については、児童の「できている」が前期の79.3%から4%下がり、75.3%という結果でした。保護者の結果に大きな変化は見られませんでしたが、教職員の結果が低く、児童の結果に影響していると考えられます。今年に入って学級閉鎖が増え、その回復授業に帯時間を活用したことで、読書の時間が減少したこと、授業で図書館に行く余裕がないこと等が理由として考えられます。スマートフォンやタブレット等、メディア機器の利用は低年齢化し、高学年になるほど、読書離れが目立つ傾向にあります。映像ではなく、文章から情景や心情等を想像する力を育てるためにも、文章を読むことに抵抗や苦手意識をもたせないように、読書をより身近にしていくように取り組んでいきます。お家でもお声かけをよろしくお願いいたします。

【後期 生活面】

	児童		A	B	C	D	保護者		A	B	C	D	教職員		A	B	C	D
①	じぶんからすすんであいさつをしている。	前期	58.5%	34.6%	5.5%	1.3%	我が家では、進んで挨拶するように声かけをしている。	前期	36.5%	56.8%	6.8%	0.0%	自分から進んで気持ちのよい挨拶ができるように働きかけている。	前期	47.8%	52.2%	0.0%	0.0%
		後期	51.8%	40.5%	6.3%	1.4%		後期	36.9%	57.9%	5.2%	0.0%		後期	36.0%	64.0%	0.0%	0.0%
②	いえやがっこうのルールをまもつている。	前期	42.5%	46.7%	9.2%	1.6%	我が家では、家や学校のルールを守るように働きかけている。	前期	28.5%	64.2%	6.5%	0.8%	家や学校のルールを守る意識を高めるように取り組んでいる。	前期	52.2%	47.8%	0.0%	0.0%
		後期	39.5%	49.6%	10.4%	0.5%		後期	34.3%	61.7%	3.7%	0.3%		後期	36.0%	64.0%	0.0%	0.0%
③	そうじやかたづけをきちんとしている。	前期	43.9%	40.8%	12.4%	2.9%	我が家では、掃除や身の回りのかたづけを自分でするようにしている。	前期	12.4%	45.1%	40.0%	2.4%	自分から進んで掃除や身の回りのかたづけをするように働きかけ、自らも実践している。	前期	47.8%	43.5%	8.7%	0.0%
		後期	39.8%	41.5%	15.9%	2.7%		後期	13.9%	45.1%	38.4%	2.6%		後期	44.0%	52.0%	4.0%	0.0%
④	こまつことは、せんせいやかぞくにそうだんしている。	前期	47.2%	35.7%	10.8%	6.3%	我が家では、子どもの話をしっかり聞くようにしている。	前期	20.5%	68.4	10.8%	0.3%	子ども達に向き合い、しっかりと話を聞くようにしている。	前期	47.8%	47.8%	4.3%	0.0%
		後期	44.5%	35.4%	15.4%	4.7%		後期	21.9%	69.7%	8.4%	0.0%		後期	33.3%	62.5%	4.2%	0.0%
⑤	だれにたいしてもていねいなことばではなしている。	前期	30.5%	45.8%	19.5%	4.2%	我が家では、丁寧な言葉づかいで話すように心掛けている。	前期	13.3%	61.0%	25.2%	0.5%	誰に対しても丁寧な言葉遣いで話すよう指導するとともに、自らも実践している。	前期	26.1%	65.2%	8.7%	0.0%
		後期	26.4%	42.3%	25.0%	6.3%		後期	19.0%	58.5%	21.6%	0.9%		後期	32.0%	64.0%	4.0%	0.0%
⑥	にがてなことにもじぶんからとりくんでいる。	前期	41.7%	33.1%	19.4%	5.8%	我が家では、苦手なことにも努力する姿勢を大切にしている。	前期	17.8%	65.4%	15.9%	0.8%	子ども達が、苦手なことにも前向きに取り組めるような手立てを、常に意識して実践している。	前期	27.3%	59.1%	13.6%	0.0%
		後期	34.5%	39.7%	18.6%	7.1%		後期	20.7%	62.2%	17.0%	0.0%		後期	27.3%	63.6%	9.1%	0.0%
⑦	じぶんのよいところがいえる。	前期	39.4%	29.4%	18.1%	13.1%	我が家では、子どものよさを認め、伝えるようにしている。	前期	32.5%	58.0%	9.5%	0.0%	子どものよさを認め、積極的に伝えるようにしている。	前期	30.4%	65.2%	4.3%	0.0%
		後期	38.5%	30.2%	18.1%	13.2%		後期	35.2%	57.9%	6.9%	0.0%		後期	37.5%	54.2%	8.3%	0.0%

「できている」「できていない」で見たとき、全体的に保護者・教職員の評価は前期から大きな変化はない、或いは僅かでも改善傾向が見られるものがほとんどでした。しかし、児童の結果については、いくつかの項目に、低下が見られました。特に、【⑤誰に対しても丁寧な言葉で話している】については、前期の76.3%から後期は68.7%と、7.6%の低下が見られました。学年別に見てみると、「できている」と回答した児童は、1年生の約9割から6年生の約5割まで学年が上がるにつれ、逆に下がっていきます。成長に応じたものかもしれません、コロナ禍でご家族と話す機会が多く、外(社会、公の場)で話す機会が少ないことを考えると、学校での学びをより大切にしているかもしれませんと改めて感じます。

【⑥苦手なことにも自分から取り組んでいる】について、児童全体としては、前期とほぼ変わらず74.2%が「できている」と回答しています。しかし、低学年の8割程度に対し、高学年は6割程度と、学年が上がると大幅に減少していきます。生活が豊か、そして便利になり、また多様な価値観が認められるにつれ、選択肢が増えたり、回避することができたりするようになりました。もちろん、生きやすい環境としてプラスの要素ではあります。しかし、困難に根気強く立ち向かって乗り越える力も必要です。時には見守り、時には背中を押せるように、学校・家庭・地域が1つになって、子どもたちを応援したいと思います。

【③掃除や片付けをきちんとしている】について、児童の「できている」は、前期84.7%から後期81.3%と若干の減少が見られたものの、8割を越える結果でした。それに対し、保護者の結果は約6割と、児童の回答と大きな差が見られました。学校でも掃除はもちろん、使った物を元に戻すことやトイレのスリッパを揃えて脱ぐ等、引き続き取り組んでいきますので、お家でも、自分のことは自分でできるように声かけをよろしくお願いいたします。

保護者の皆様からいただきましたご意見についても教職員で共通理解を図るとともに、3月3日の「学校運営協議会理事会」でも話題にさせていただきます。お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。子ども達の成長のために学校と保護者が連携してよりよい取組を進められますよう、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

○今回のアンケートでは、保護者の皆さんに14の項目について振り返って書いていただきました。
一部になりますが、紹介させていただきます。

- ・学校生活を楽しみ、日々充実している。成長に驚いている。少しずつ自分でできることは増えてきている。学校生活を通して何事にも前向きに取り組んでいる。基本的な生活や学習への取組はできるようになってきた。家庭だけではなく、学校生活で学んでいることも多く、成長している。学校で学んだことを家でも話し、家族全員で学び成長している。学校に楽しく登校し、自分の意見を人前で発表できるようになった。
- ・話をしっかりと聞くことが苦手なようだが、少しずつ取り組んでいる。
- ・成長を評価してもらえて、家で「褒めてもらった」と喜んでいる。
- ・学校で学習ルールをつくり、自主性を育てる取組をしてくれてありがたい。
- ・勉強と遊びの両立が大変だが、先生のサポートがありがたい。
- ・自分の気持ちや想いを言葉にすることが苦手である。
- ・もうちょっと心身を鍛えてほしい。苦手な勉強に主体的に取り組めるようになってほしい。
- ・自分が興味あることに対しては集中できるが、今、何をすべきの判断がまだ不十分である。
- ・家や学校のルールを守るように声をかけているが、忘れるので困っている。
- ・身の回りの片付けを言わなくててもしてほしい。
- ・学習は自分からしているが、教えてもらっているときに、しっかりと相手の話を聞くことができればもっと良い。
- ・共同生活の場の使い方や他者への思いやりを育てるために、学校の清掃活動にもっと力を入れてほしい。
- ・心身の健康を守り、健康あってこそ成り立つ生活を大切にしていきたい。
- ・苦手なことを努力しようとする姿勢が当面の課題で悩んでいる。
- ・勉強への意欲が低いので、楽しく勉強できる家庭環境をつくっていきたい。
- ・2学期の反省から、子どもの良さを認めて伝えることを心掛けている。
- ・叱る時に、もう少し丁寧な言葉で話すようにしていきたい。
- ・運動はなかなか難しいが、読者を促すことはできそう。外遊びを増やしたい。
- ・自分の意志で物事を選び、実行することができるよう、一緒に取り組んでいる。何度も言つても身につかず、何度も言うと怒りだすので困っている。
- ・コロナ禍で外出の機会が減ったので、意識的に外に出るように心がけたい。
- ・振り返る良い機会になった。言うだけではなく、環境を整えることも大切だと思った。

その他、「子どもの様子が、家と学校で差が大きい。」という意見もありました。学校は「小さな社会」ですので、大人と同様、子どもの様子が家と学校で違うのは、ある意味当然のことです。外に出て頑張り、疲れて帰ってくる子どもたちが、家でリラックスでき、リフレッシュできるからこそまた外に出る力が湧きます。これからも外でたくさん学んでほしいと思います。